

キッズサポーター通信



平成26年4月28日 高松市立弦打小学校

平成26年4月28日に、認知症サポーター養成講座を行い、オンラインリングを手にした、90名のキッズサポーターが誕生しました。サポーターから、講座の学びや感想をいただきましたのでいくつかご紹介します。

学んだこと



・認知症の人に話しかける時は、「ゆっくり」「やさしく」「目を見て」の3つが大切だと分かった。

・まわりの人の助けも必要だと分かった。

・85歳を超えると4人に1人になるとのことや、認知症にかかると物忘れがひどくなる事が分かった。

・認知症は、脳の病気でいろんな事を忘れてしまう病気だと分かった。

サポーターとしてできること



・身近なお年寄りから私にできることはサポートしていきたい。

・忘れても、やさしく、ゆっくり声をかけたい。

・認知症の人がいたら、笑顔になるような言葉づかいで話したい。

・これからは、やさしく、怒らずにお年寄りや認知症の人に話しかけたい。

これから学びたいこと



- ・もっと勉強して高齢者や認知症について調べていきたい。
- ・認知症サポーターとしてがんばりたい。
- ・オレンジリングの約束を守りたい。

今回のサポーター養成講座を受講した小学生のみなさんは、紹介した以外にも、多くの気づきもあったようです。これからもやさしい気持ちで高齢者と接してくださいね。

